

# 2003 北アルプス縦走山行報告

日時 2003 / 08 / 09 ~ 08 / 14

山行形態 幕営単独山行

コース

08/09	大阪=(急行きたぐに)=
08/10	富山=(富山地方鉄道バス・予約制)=折立-太郎兵衛平-薬師峠
08/11	薬師峠-北の俣岳-赤木岳-中俣乗越-黒部五郎岳-(カール道)- 黒部五郎小屋
08/12	黒部五郎小屋-三俣蓮華岳-(稜線ルート)-双六池
08/13	双六池キャンプサイト-鏡平分岐-弓折岳-大ノマ岳-秩父平- 抜戸岳-笠ヶ岳キャンプサイト-笠ヶ岳ピストン
08/14	笠ヶ岳キャンプサイト-抜戸岳-笠新道(新設ルート)-杓子平- 新穂高-高山-(特急ひだ)-大阪



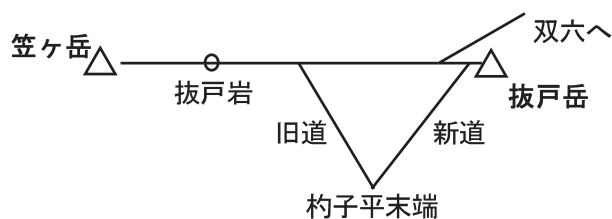
## 山行詳細

- 08/09 23 : 26 <アクセス>急行きたぐに乗車  
<エピソード>  
和歌山県白浜の高校生達と一緒に。福井で行われる演劇の全国大会への観劇とのこと。
- 08/10 04 : 29 <アクセス>富山着  
05 : 10 <アクセス>富山地方鉄道の富山・折立直通バスに乗る。荷物代、10Kg以下は無料。10～20Kgは650円。20Kg以上850円。バス代3260円。  
このバスは予約制。TEL、076 - 442 - 8122  
07 : 20 <アクセス>折立着。  
<エピソード>  
バスの運転手がポスターになっている場所等教えてくれる。今度の台風は富山は影響なかったという。富山に影響のある台風は能登沖通過分だけらしい。
- 07 : 30 <ルート>折立発  
通常通りの太郎坂の急登。30分くらい登った所に、三角点まで1:30の標識がある。地質に注意して歩いて欲しい。地質が変わると三角点まで後20分くらいである。  
<気象>  
台風一過、天気良好。カンカン照り。  
<エピソード>  
三角点に着くまでに腕は真っ赤。日焼け止めクリーム忘れた。第一の失敗が露見。
- 09 : 30 <ルート>三角点着  
スッキリした見晴らしが開けている。剣岳が美しい
- 11 : 30 <ルート>2196 m標高点  
ここまで、乱目に積んだ敷石道が続く。ノンビリ歩いて30分ごとにベンチが現れる。後ろにあった有峰湖が右斜め後方の感じになると標高点である。
- 12 : 30 <ルート>太郎兵衛平  
2196 mの標高点からココまでは殆ど木道を歩くことになる。  
<エピソード>  
車中でも感じたのだが、太郎小屋のゴミ箱を見て思う。今年のスポーツドリンクはアミノ式が流行のようである。太郎の小屋はDAKARAしか置いてない。アミノ式のペットボトルがたくさん捨ててある。  
<展望>  
水晶岳がいい。左から、水晶、ワリモ、鷲羽、三俣蓮華、黒部五郎、北ノ俣岳の威容である。例年なら散っているニッコウキスゲが咲いている。高山植物も今年は遅咲きの様子。  
<小屋情報>  
太郎小屋は生ビールがある。
- 13 : 30 <ルート>薬師峠キャンプサイト。  
ココまで木道。テン場代600円。  
<気象>  
13:00過ぎくらいより、水晶にガスが湧く。

- 08/11 04 : 30 起床
- 05 : 00 <ルート>太郎小屋  
<気象>  
山々はガスの中。撤収時点でフライシートが結露していない。現在の気象配置から考えて、北の高気圧が張り出したと考えるのが妥当。よって、前線は南下、本日雨。後一時間もしないうちに降りそうである。
- 07 : 00 <ルート>北ノ俣岳着  
北ノ俣岳の肩までは木道を歩くことになる。私たちが子々孫々に残したい山は木道化された山でなく、天然自然の山なのだが。湿原の木道化はやむをえないと思うが稜線の木道化はいかがなものか。  
<気象>  
雨は6 : 00前より降り始めた。飛騨側斜面は風が強い。越中側は穏やかである。  
<エピソード>  
社会人風の女の子二人パーティーが引き返してきた。「明日晴れたらどうすんのよ?」「その時のことだわさ」と笑いながら話している。
- 08 : 00 <ルート>中俣乗越着  
この間は岩場がある。そこだけ注意。一つの岩場を抜ける直前で気を抜く人が多い。最後まで緊張感を持続しないと事故る。  
<エピソード>  
昨日の三角点でヘルメット担いだ女性二人のパーティーがいた。この雨の中赤木沢をやっているのだろうか?
- 10 : 30 <ルート>黒部五郎岳の肩  
尖った岩が目印。この岩まで行くと五郎の肩まで20分位。  
<エピソード>  
途中女性の単独幕営山行者に追い抜かれる。ドス、ドスと一步一步踏みしめながら歩く。なぜか感激。この方は五郎山頂をピストン。こちらはトットトカールに下る。五郎の肩は殆ど視界なし。ここにカメラ忘れた人がいる。
- 12 : 30 <ルート>黒部五郎小屋  
明日も雨と思う。そこで緊急避難的に小屋利用に切り替える。  
<小屋情報>  
8500円。利用者が多いとかで布団二つに三名。小屋のルールを守らない人が散見されるのは心が痛む。世の中「やったもん勝ち」か?ここの夕食は定評がある。疲労を考えてか甘めの味付けである。  
<エピソード>  
赤木沢に入った女性二人パーティーが上がってきた。「赤木沢は綺麗だって言うから入溪したんだけど・・・」。いくらなんでも、台風後の雨じゃ状況悪いわ。  
夕食時に隣に座ったおじさんが凄。仏様にあげるご飯のように盛り上げる。これを3杯(数えてたよ)。味噌汁3杯。食後のお茶にいたっては8杯で数えるのやめた。
- 08/12 06 : 00 <ルート>黒部五郎小屋小屋発  
<気象>  
昨日の予報では、今日の午後から曇り、明日は晴れ。北の高気圧が張り出し

- 太平洋高気圧が後退するとの予報。
- 08 : 30 <ルート>三俣蓮華岳山頂  
五郎小屋からの取り付きは晴天時なら岩場の急登。今日は川。このルート雨の日にはちょっとした注意が必要。途中で左に道が分かれる。この道は五郎の小屋に戻る下り。川歩きに疲れて丁度逃げたいタイミングで現れる。  
<展望>  
視界0。唯一の収穫は、三俣蓮華稜線付近はタカネヤハズハハコ（別称、タカネウスユキソウ）がそこここに群生していることを見つけたこと。
- 11 : 00 <ルート>双六池着  
雨が上がってきた。空を見たりしていたら思わぬ時間を食っていた。相変わらず飛騨側斜面は風が強い。  
<気象>  
午後から曇り。予報が当たる。  
<エピソード>  
今日はテントで濡れた物の乾燥。靴下が臭い。テント内に臭気充満。  
<小屋情報>  
いつも思うのだが、この小屋、テン場届に住所氏名を書かさない。事故等の時どのように対応するのだろうか。
- 08/13 05 : 30 <ルート>双六池キャンプサイト発  
<気象>  
予報どおり晴れ。太平洋高気圧も巻き返すだろうから明日は前線が北上し雨と予測。今日一日の晴れを楽しむしかない。
- 06 : 40 <ルート>弓折岳山頂  
槍ヶ岳・穂高の屹立する山並を見ながら歩けるこのルートは爽快である。  
<展望>  
焼岳に雲がかかる、背後に乗鞍岳、御嶽山。槍ヶ岳・穂高連峰を眺めるのに絶好の場所である。
- 08 : 00 <ルート>大ノマ岳山頂  
弓折岳から見ると嫌になるような登りが、大ノマの登りと秩父平から抜戸にかけての登り。しょうがないのでシコシコ登る。  
<展望>  
ここも展望絶佳。見える小屋は黒部五郎小屋。カールを抱いていない黒部五郎岳の姿も面白い。  
<エピソード>  
途中ライチョウに出会う。登山道の端で葉をついばんでいる。登山者が何人集まろうと我関せず。悠々とついばむ姿は微笑ましかった。いつもならもう少し冬毛があるのだが、腹の下部にほんの少しだけである。
- 09 : 40 <ルート>秩父平・抜戸稜線合流点  
ここもシコシコ登るしかない。雪田を抜けると稜線。  
<エピソード>  
大ノマ岳の山頂で追いついてきた女性二人パーティー（大学生）、リーダー格の女性が凄い。悠揚迫らざるペースで歩く。速くも無ければ遅くも無い。上りも下りも関係ない。常にコンスタントにピッチを刻む。
- 12 : 00 <ルート>笠ヶ岳キャンプサイト

笠ヶ岳山荘が見えてからが長い。ずっと見えているだけに却って疲れる。留意点は笠新道が付替えられていること。抜戸・笠ヶ岳間の笠新道は現在、抜戸岳山頂直下に付替えられている。道はしっかりしている。



#### <小屋情報>

公衆電話は無い。緊急の場合は小屋の携帯が貸してもらえる。キャンプサイトの水場は3分ほど下ったところ。涸れている場合は小屋の裏手の蛇口を使う。新しそうな小屋。

#### <展望>

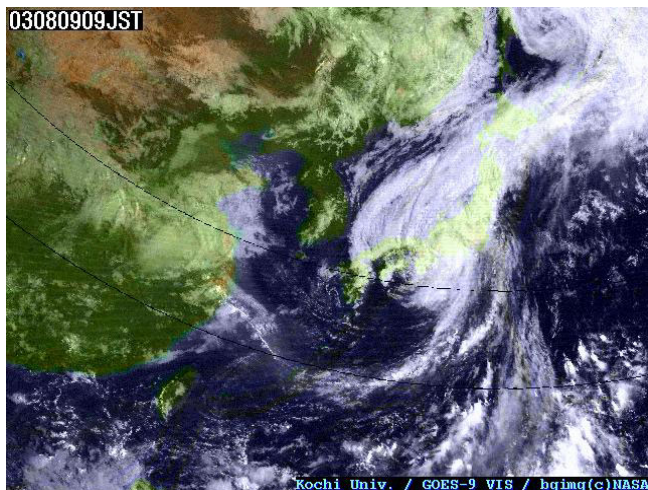
目の前の穂高はいいのだが、新穂高温泉の家並みも見える。ちょっぴり味気ない。

#### <気象>

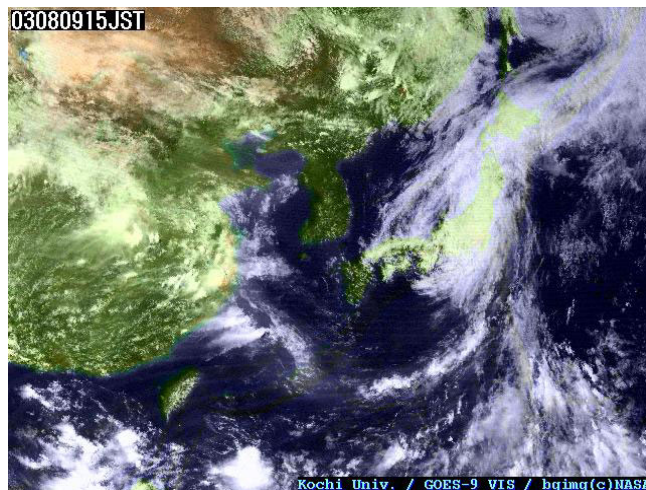
だんだんガスがかかってくる。願いは明日の午前中まで持ってくれ。

08/14	05 : 30	起床
	06 : 00	<ルート>笠ヶ岳キャンプサイト発。
	07 : 10	<ルート>抜戸岳山頂・笠新道分岐。 昨日来た道を引き返す。抜戸岳山頂への道を取り山頂ルートと分れて新穂高への道をとる（笠新道）。
	10 : 00	<ルート>笠新道入り口。 道はしっかりしているが、この下りはシンドイ。登る人はもっと大変でしょうが。
	11 : 10	新穂高バス停。
	11 : 20	高山バスセンター行き乗車。
	15 : 08	特急ワイドビュー飛驒に乗車。
	20 : 15	大阪着（人身事故で一時間遅れる）

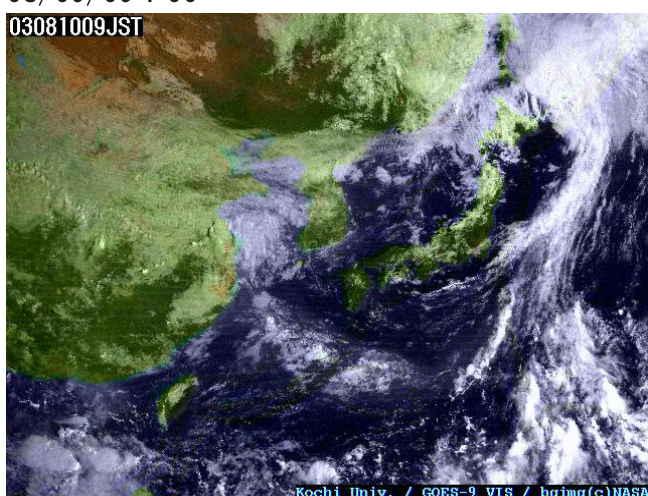
# 気象



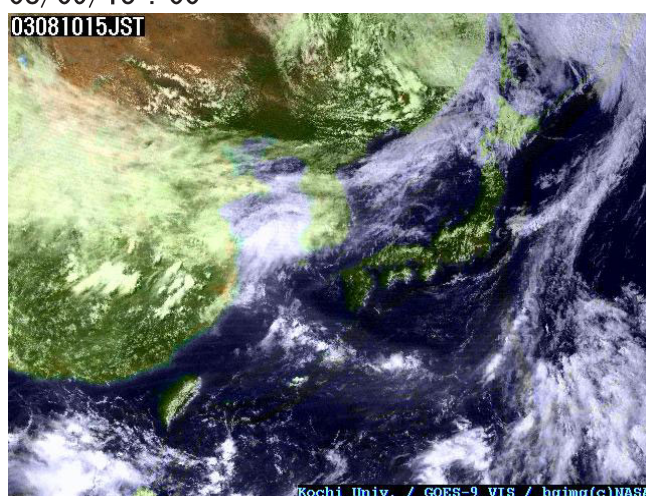
08/09/09 : 00



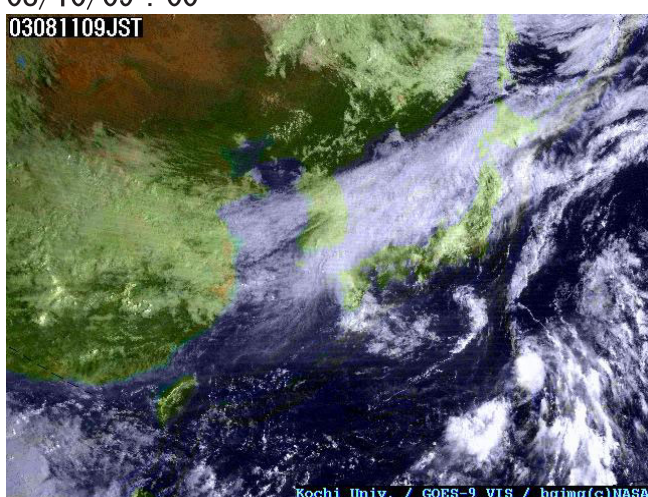
08/09/15 : 00



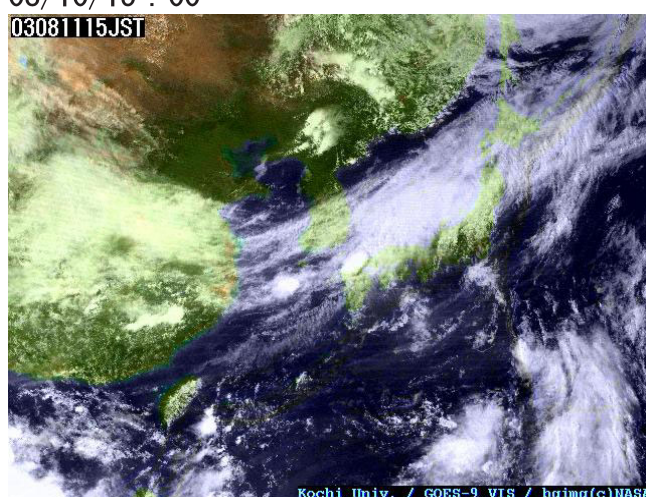
08/10/09 : 00



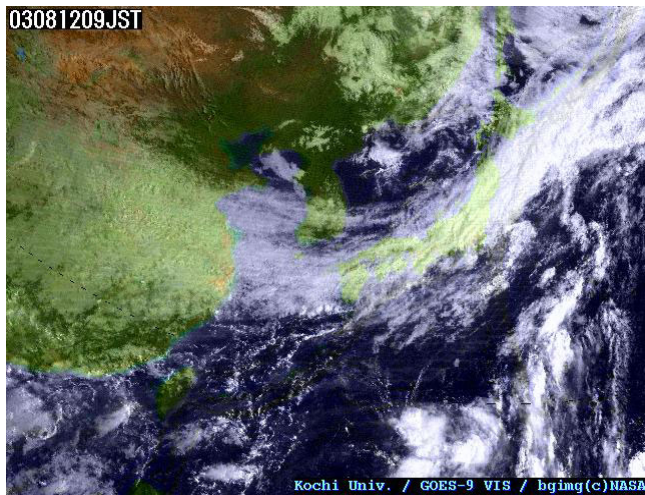
08/10/15 : 00



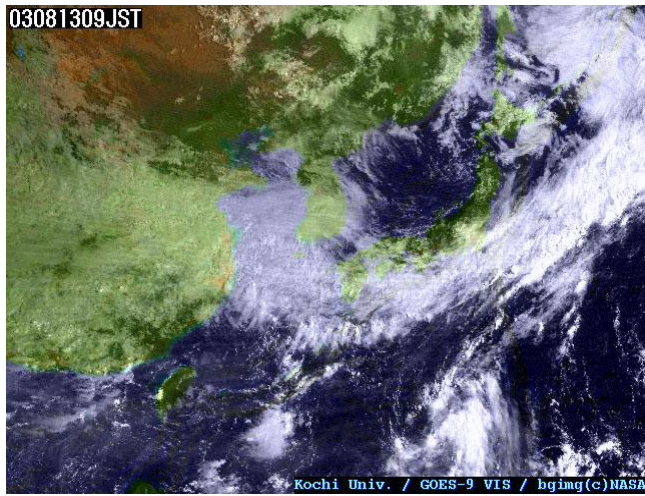
08/11/09 : 00



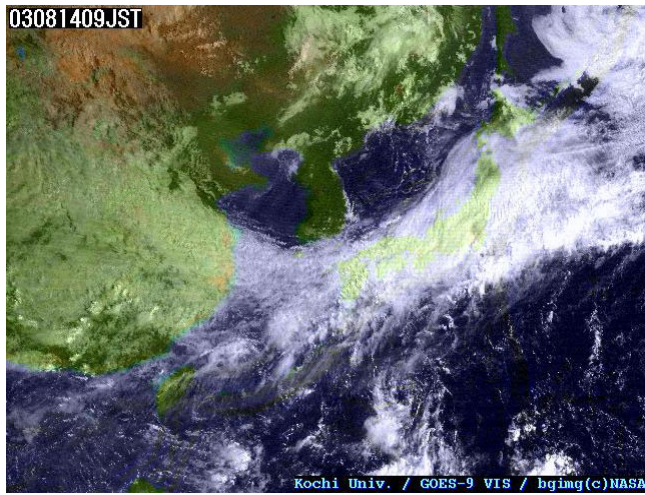
08/11/15 : 00



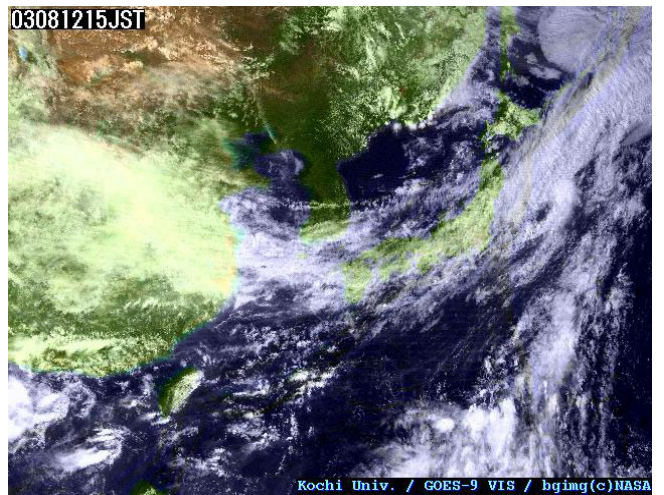
08/12/09 : 00



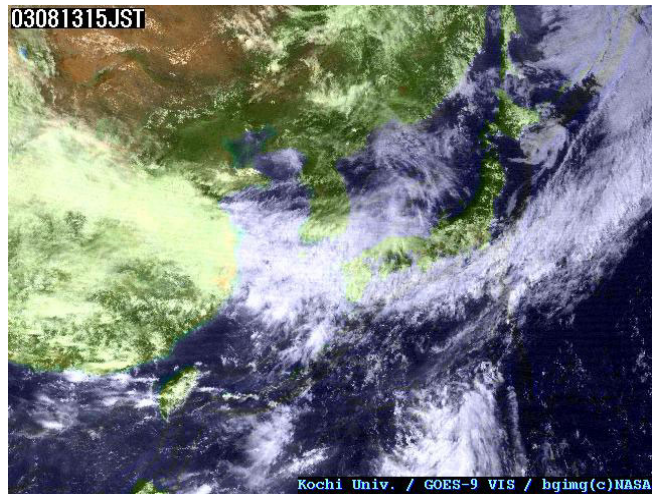
08/13/09 : 00



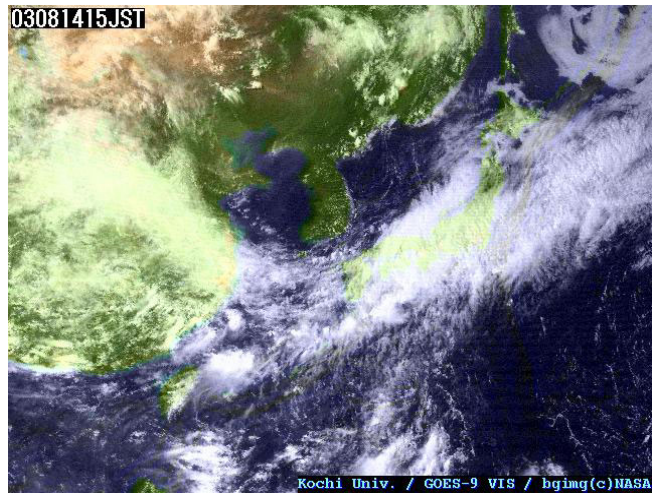
08/14/09 : 00



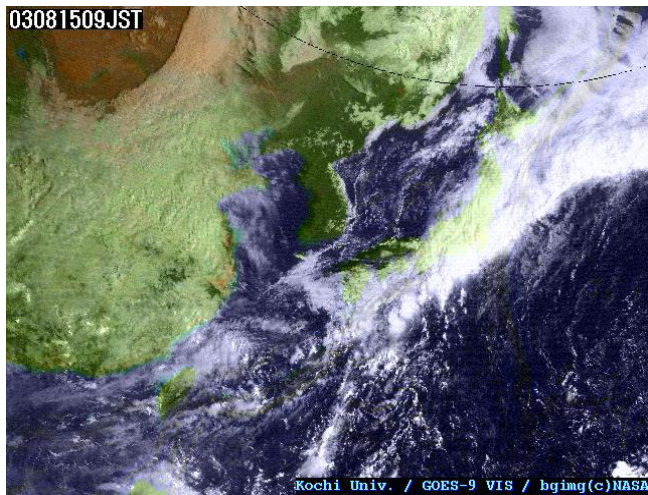
08/12/15 : 00



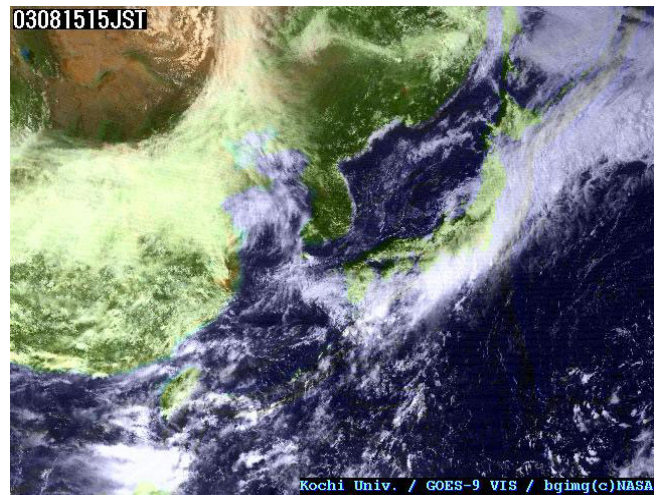
08/13/15 : 00



08/14/15 : 00



08/15/09 : 00

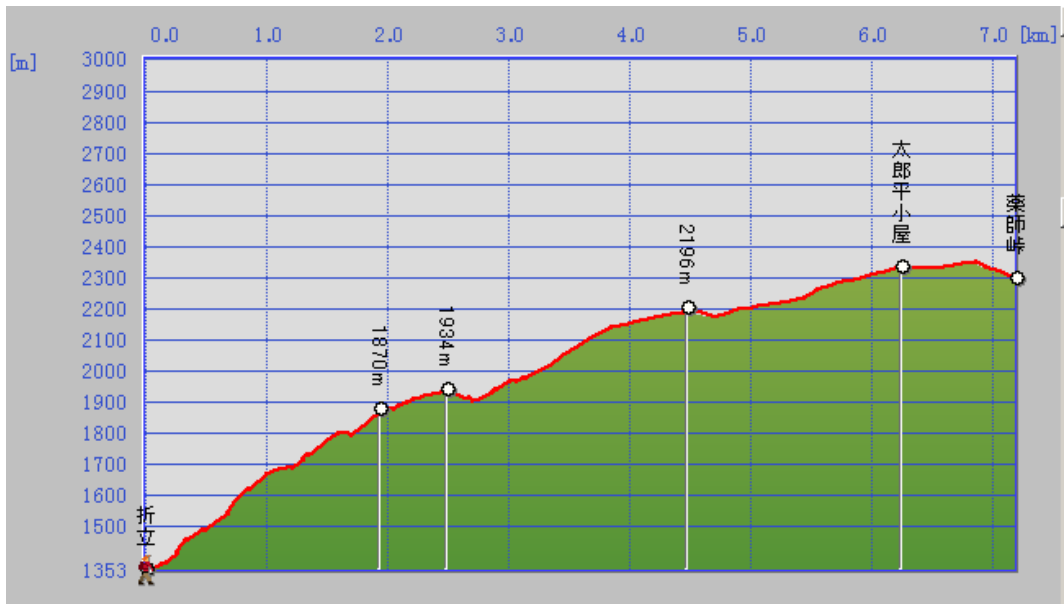


08/15/15 : 00

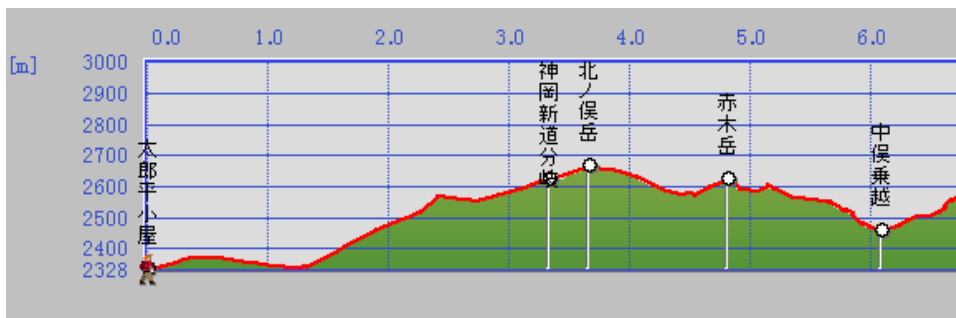
ここに掲載した気象データは、高知大学・気象情報頁より引用しております。

# ルート断面図

折立-薬師峠



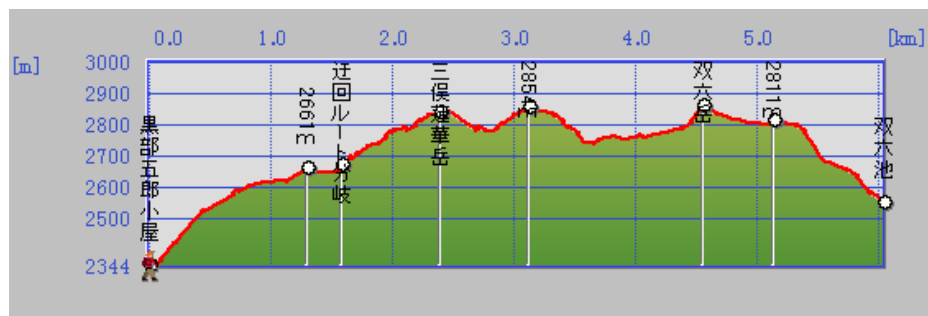
太郎兵衛平-黒部五郎小屋 (1)



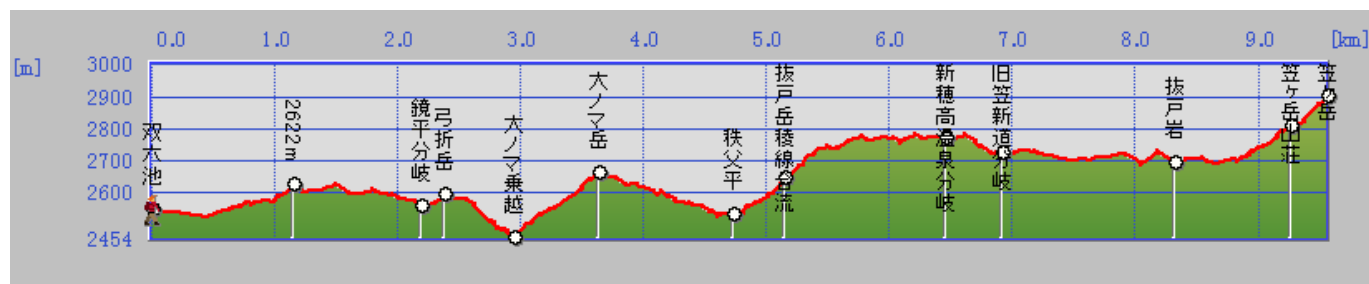
太郎兵衛平-黒部五郎小屋 (2)



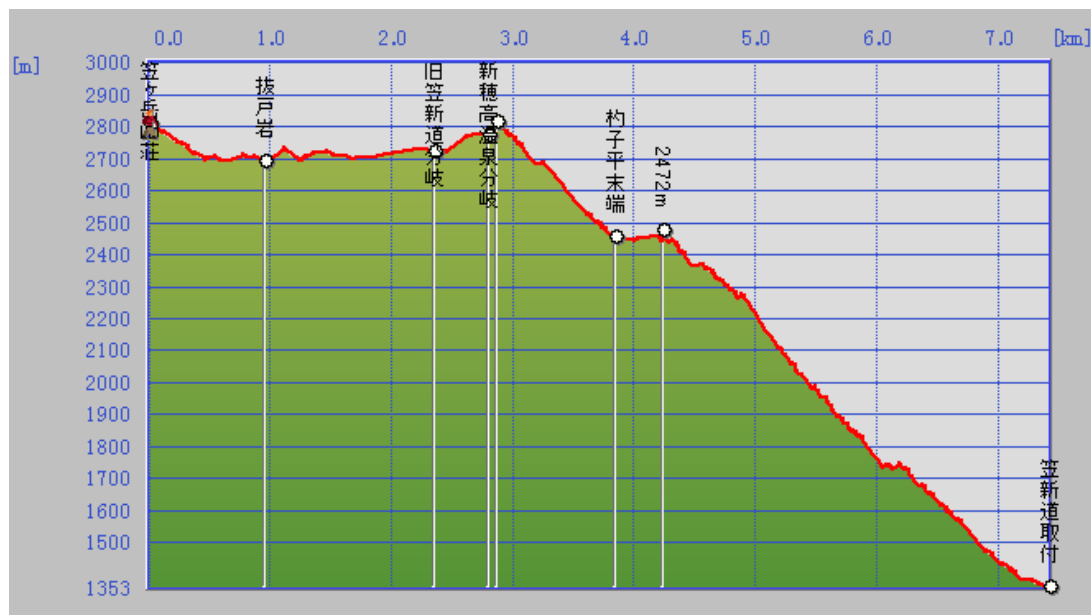
黒部五郎小屋-双六池



双六池-笠ヶ岳 (1)



笠ヶ岳-笠新道取付



ルート断面図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図および数値地図50mメッシュ（標高）を使用したものである。（承認番号 平14総使、第28号）